

2017年3月13日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ
日本イーライリリー株式会社
EL17-14

「第13回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」 「当事者部門」「支援者部門」で、4団体を表彰

～多方面に展開する当事者活動や、積極的な社会参加を支える取り組みを表彰～

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(事務局:千葉県市川市、以下「コンボ」)は、2017年3月10日(金)、東京国際フォーラム(東京都)にて、「第13回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)ーひとりひとりの輝くあしたへー」の表彰式を開催し、「当事者部門」と「支援者部門」の2部門あわせて4団体の受賞者に対し、盾と副賞を授与いたしました。

【受賞者、プレゼンターの町 亜聖さん、選考委員、協賛社による記念撮影】



「第13回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者

＜当事者部門＞ 副賞 100万円

北海道 NPO 法人 精神障害者回復者クラブすみれ会

精神障害の当事者のみで運営する日本初の共同作業所を30年間運営。ピアスタッフの草分け
当事者活動の原点ともいえる取り組みを、30年以上にわたり継続・発展させてきたことが評価されました。

大阪府 一般社団法人 UnBalance (アンバランス)

発達障害の当事者によるピアサポートグループとしてユニークで多面的な活動を展開
当事者サロンだけでなく、多面的に展開される活動のユニークさと発信力が評価されました。

＜支援者部門＞ 副賞 50万円

福島県 会津若松市立川南小学校

精神障害者の福祉事業所と18年にわたり交流、子どもたちの啓発と当事者の地域参加を応援
「地域で共に生きる」教育活動のモデルであり、アンチステイグマにつながる活動として評価されました。

大阪府 高槻精神障害者スポーツクラブ (愛称:WEARE ウィアー)

精神障害の当事者によるフットサル、バレーボールチームを結成、スポーツを通じた社会参加を支援
積極的に地域にネットワークを広げ、当事者の社会参加を支援する取り組みが評価されました。

■リリー賞に関するお問合せ:

認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞事務局
TEL:047-320-3870/FAX:047-320-3871

■受賞者へのご取材に関するお問合せ:

広報代理店 (株)トークス
TEL:03-3261-7715/FAX:03-3261-7174 担当:佐野、松木

第 13 回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) 受賞者プロフィールおよび受賞理由

【当事者部門】 NPO 法人 精神障害者回復者クラブすみれ会 〈北海道札幌市〉

1970 年、北海道立精神衛生センターの社会復帰学級の卒業生 4 人が、当事者の会として「すみれ会」を立ち上げ。1986 年、日本初の当事者のみで運営する「すみれ共同作業所」を創設し、1994 年には 2 か所目の作業所を設立。2007 年に NPO 法人となり、現在は 2 つの地域活動支援センターとして活動している。共同作業所への補助金制度や、交通機関の障害者割引制度の実現にも貢献。当事者活動の原点ともいえる取り組みを、30 年以上にわたり継続・発展させてきたことが高く評価された。



【当事者部門】 一般社団法人 UnBalance (アンバランス) 〈大阪府大阪市〉

2013 年 1 月、大人の発達障害の当事者自助グループとして発足。2016 年に法人化し、当事者サロン、臨床心理士などの専門家を招いた勉強会、当事者が得意な分野で講師を務めるワークショップ等を開催するほか、他の当事者グループとの交流や、発達障害の子を持つ親の会、当事者が自由に過ごせる居場所づくりにも力を注ぐ。多面的に展開される活動のユニークさと発信力が高く評価された。



【支援者部門】 会津若松市立川南小学校 〈福島県会津若松市〉

「思いやりのある子ども」を育成するという教育目標の一環として、精神障害者福祉事業所「ほっとハウスやすらぎ」との交流を 18 年にわたり実施。さつまいもとラベンダー栽培、田植え、クラブ活動、学習発表会など多彩なプログラムを展開している。子どもたちは精神障害に対する先入観を持たずに当事者となつながらを持ち、当事者は交流活動を通して人との接触に自信を持つようになっている。「地域で共に生きる」教育活動のモデルであり、アンチスティグマにつながる活動として高く評価された。



【支援者部門】 高槻精神障害者スポーツクラブ (愛称:WEARE ウィアー) 〈大阪府高槻市〉

2006 年 4 月、精神科病院のデイケアでバレーボールをしていた当事者チームが母体となり、病院外の当事者や、スポーツが好きな精神保健福祉の関係者が集まり発足した地域型スポーツクラブ。フットサルとバレーボールを軸に、競技スポーツとして活動を行っている。2011 年 3 月、フットサルのチームが精神障害者のスポーツ団体として初の海外遠征を実施。J リーグのクラブチームとも交流するなど、積極的に地域にネットワークを広げ、当事者の社会参加を支援する取り組みが高く評価された。



<「第13回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」応募・選考 について>

「リリー賞」は、精神障害者の社会参加や地域社会での自立を促す活動を行っている当事者・当事者団体を表彰する賞として、2004年に設立されました。第9回より「当事者部門」に加えて「支援者部門」を設立し、医療、福祉だけでなく、地域コミュニティ、教育など、さまざまな分野・立場で、精神障害者の社会参加・自立を支援する個人やグループ・団体を対象としています。

- 主催 認定NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ)
- 協賛 日本イーライリリー株式会社
- 募集期間 2016年9月1日～12月31日
- 応募件数 当事者部門 61件 / 支援者部門 36件
- 選考 「当事者部門」については①当事者を主体とした取り組みであること、②独自性、③社会・医療・保健福祉へのインパクト、「支援者部門」については①独自性、②社会・医療・保健福祉へのインパクト、③将来性の3点をそれぞれ主な選考基準として、以下9名の選考委員により2017年1月29日(日)に行われました。

【選考委員】(敬称略)

- 高橋 清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
- 佐藤 光源 (医療法人恵風会高岡病院特別顧問)
- 中村 純 (産業医科大学名誉教授/特定医療法人北九州病院北九州古賀病院院長)
- 寺谷 隆子 (社会福祉法人 JHC 板橋会理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
- 笠原 健 (第12回リリー賞受賞者)
- 藤野 英明 (コンボ理事/横須賀市議会議員)
- 大島 巖 (コンボ代表理事/日本社会事業大学学長)
- 伊藤 順一郎 (コンボ共同代表/メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ)
- 宇田川 健 (コンボ共同代表)

「コンボ」では、困難な状況を乗り越え活動している当事者・当事者団体、支援者・支援者団体を表彰する本賞を通じて、より多くの方々が統合失調症をはじめとする精神疾患に対する正しい理解を深め、そして、当事者にとってより良い環境整備及び充実の一助となるよう活動してまいります。

協賛の日本イーライリリー株式会社は、革新的な医薬品の開発・提供に加え、患者さん・ご家族への情報提供や支援、精神疾患の一般への理解促進などを通じ、患者さんのリカバリーへの貢献をめざします。

認定NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ(Community Mental Health & Welfare Bonding Organization)について

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、2007年2月に設立したNPO法人です。「当事者の視点」を活動の重点に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん、結腸・直腸がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症、乾癬などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチなどの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>